

ユニバーサルデザイン旅行センターの主事業にしたい

2020年、  
**ユニバーサルデザイン旅行  
センターが取り組む、介護旅行  
のあるべき姿**

ユニバーサルデザイン旅行センター  
伴流高志

所持資格：介護福祉士、福祉用具プランナー、  
福祉住環境コーディネーター2級

**前半**

- ①○○○○のあるべき姿、  
そう感じた背景・経緯
- ②○○○○の現状と課題

どう感じたか、  
 2つあり、  
 2つあり、

あ  
 は

①-1. そう感じた経緯・背景

1. CTが要介護高齢者に取り組んで20年目

次の20年に向けて、  
 既存のビジネスモデルに拘らず、様々な障がい  
 者や要介護（要支援）高齢者、介護人材（従事  
 者）を対象にした様々な旅行商品やサービスで  
 チームの拡大を図りたい。



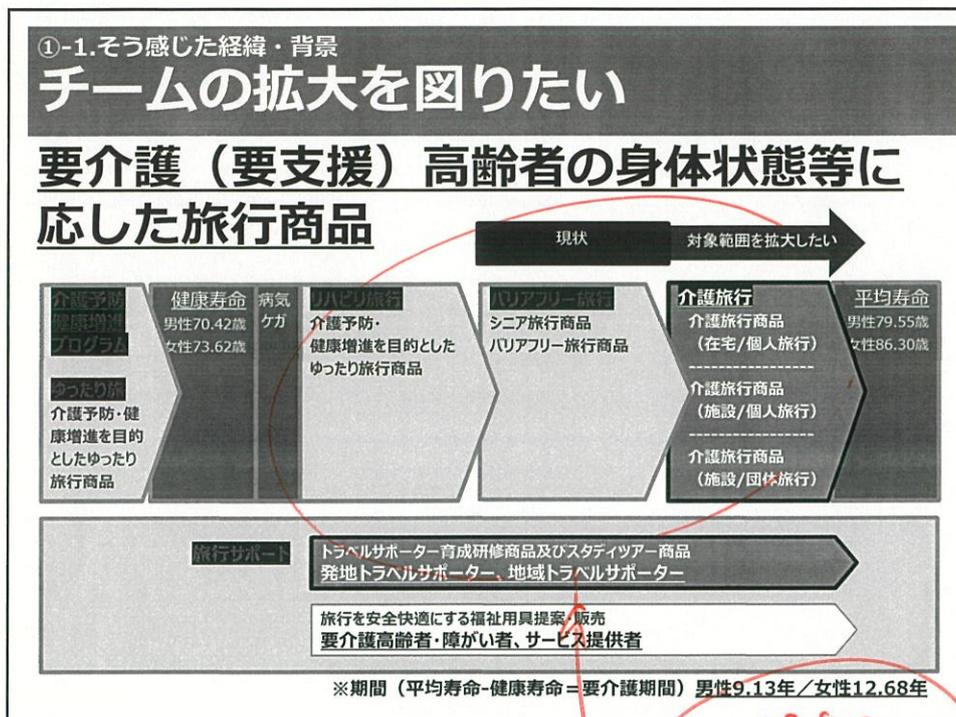
①-1. そう感じた経緯・背景

チームの拡大を図りたい

提案2

提案1

	肢体 不自由	要介護 高齢	視覚 障害	聴覚 障害	内部 障害	介護人材 *従事者
募集型企画 旅行*TC付		○ 今まで	△			○
募集型企画 旅行*2UP		○ 人材				
受注型企画 旅行*個人		○ 人材				
受注型企画 旅行*団体		△				○
手配旅行						



①-2. そう感じた経緯・背景

## 2. 急速に進む首都圏の高齢化により生じる 様々な社会課題を旅を通して解決したい

次の20年に向けて、  
ソーシャルビジネス、CSVの実践による新しい  
ビジネスチャンスに挑戦したい。

①-2. そう感じた経緯・背景

## 挑戦したい

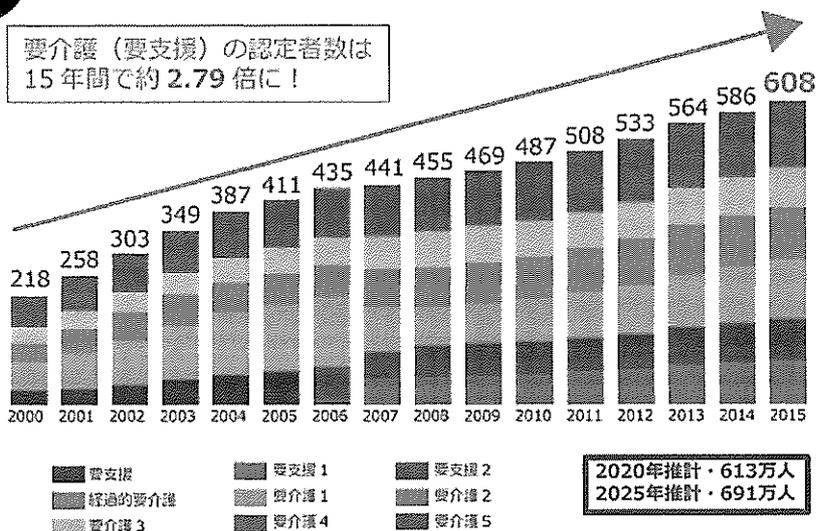
### 旅を通して解決したい、超高齢社会における社会の課題

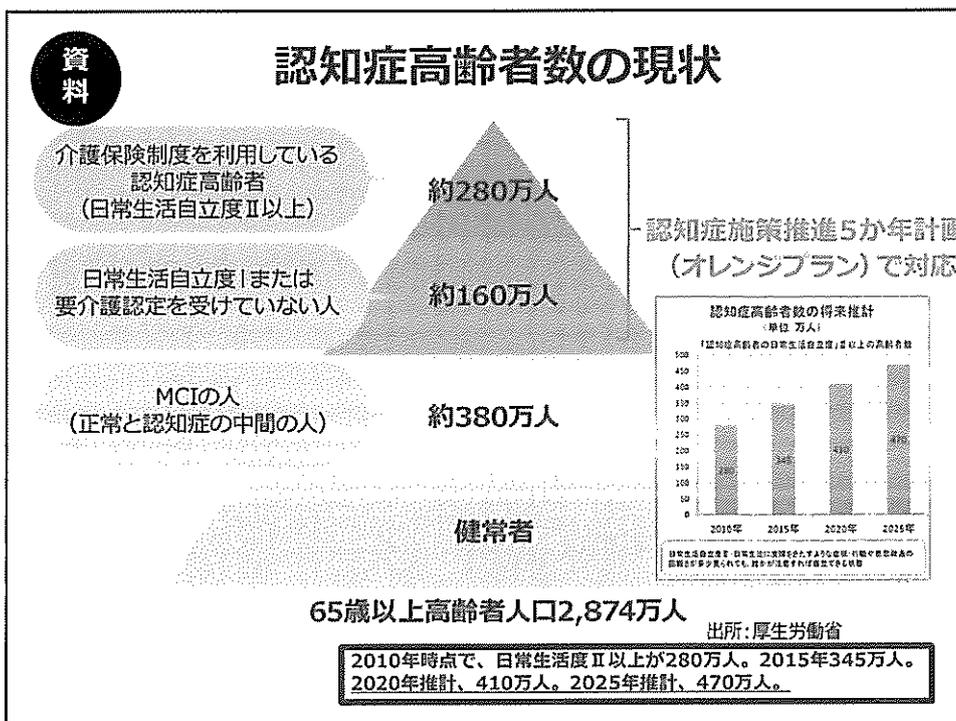
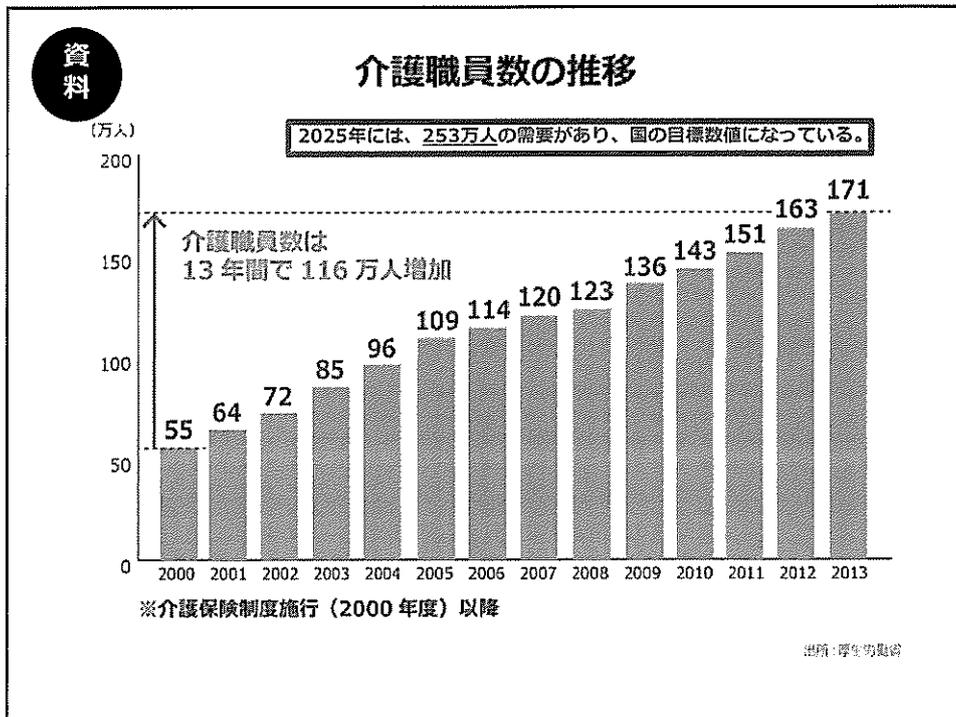
2018～2025年	旅で解決ができる課題
(1) 健康寿命	●平均寿命の差異期間をより豊かに生きる為の余暇活動が多様化する。
(2) 要介護高齢者増加 *介護人材の増加	●要介護度毎に応じた多様な介護旅行が必要になる。 ●介護人材も増加する為、外出支援のスキルアップ研修が必要になる。
(3) 2025年問題	●団塊世代の後期高齢化により、比例して要介護高齢者が増加する。
(4) 平成30年問題	●要介護1～2の外出支援・生活支援が保険適用外になり、関連企業が新規事業を始めるようになる。
(5) 2020年オリパラ	●訪日外国人、東京を訪れる障がい者や要介護高齢者を支援する仕組みが必要になる。 ●サービスの質を向上させる為の介護人材育成が必要になる。
(6) 認知症患者増加	●認知症患者家族の「生活の質（余暇活動の充実）」を向上させる為のレスパイト旅行が必要になる。

資料

### 要介護度別認定者数の推移

要介護（要支援）の認定者数は  
15年間で約2.79倍に！





## ②現状－競合他社の取り組み（比較）

### 他社の取り組みとの比較

会社名	取り組み
<b>JTB</b> *JTB国内企画 *JTBワールド パッケージツアー *JTB首都圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者差別解消法の「合理的配慮」として、ルックJTBや旅物語のオプションとして、介護人材（トラベルヘルパー）派遣社会あ・える倶楽部と提携。JTB首都圏を中心に全国の店舗で対応。</li> </ul> サービス内容：2015年開始。お客様は、介助者の旅行代金+諸税+保険代金+日当（20,000円以上）を負担。JTBは、提携先からKB15%。
<b>HIS</b> *ユニバーサル ツーリズム旅行 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害者差別解消法の「合理的配慮」として、Ciaoやインプレッソブランドに対応。人材は自社育成「旅行介助ボランティア」とNPO団体へのアウトソーシングで対応。</li> </ul> サービス内容：2008年開始。介助者の旅行代金+諸税+保険代金のみ。
<b>CT</b> *ユニバーサル デザイン旅行 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ユニバーサルデザイン旅行センターが企画実施する「杖・車いすで楽しむ旅」を中心に実施。障害者差別解消法の「合理的配慮」として、クラブツーリズムの旅へも対応。</li> </ul> サービス内容：2000年開始。介助者は、旅行代金の一部（10~40%）を負担して参加。「介助者であり、旅仲間である」、他社にはできない取り組み。

## ②課題- 既存の仕組み改善が必要

### CT介護旅行における課題

<b>2000年（17年前）</b> サービス開発の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当時（介護保険制度スタートした年）は、要介護高齢者や障がい者の旅の選択肢が少なく、TC同行の募集型企画旅行が主流で旅行代金も高額になる。</li> <li>●要介護高齢者の旅行代金の負担を軽減させる為に、善意あるCT顧客の協力を得て「介助者+旅仲間」としてサービス開始。</li> </ul>
課題	内容
(1) 時代に合っていない。	●サービス開始当初の時代と、現在・未来の社会環境が大きく変化している。（旅行環境におけるバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が進み、要介護高齢者や障がい者の個人旅行が可能になる）
(2) 事業化を目指したい。	●今後、介護保険制度の改正により、外出支援などの介護サービスの有償化（介護保険外）が進む。旅行介護人材育成をニーズが高まり、研修やスタディ旅行の需要が増えると考えられる。
(3) 人材確保と人材育成をどうするか。	●他社の取り組みのように、旅行介助サービスの主流は、人材派遣の事業化。介護報酬を得られる事業に優秀な人材が流動し、人材確保が困難になることが予想される。

## 後半

### ③提案

### ④提案を実現にするための 具体的なプロセスと、 アクションプラン

### ③提案 | 人材育成と商品開発の相乗効果がポイント

#### 【提案 1】

介護人材（従事者）を対象に人材育成やスキルアップを目的とした「スタディ旅行」と介護事業所を対象にした「視察・研修旅行」の企画・販売

#### 【提案 2】

トラベルサポーター「人材派遣業務」と「介護旅行」の企画・販売



人材育成と商品開発の相乗効果がポイント

## ④具体的なプロセスとアクションプラン

## 【提案1】

介護人材（従事者）を対象に人材育成やスキルアップを目的とした「スタディ旅行」と 介護事業所を対象にした「視察・研修旅行」の企画・販売

## 1. 旅行中の介助スキルを学ぶ「トラベルサポーター研修と資格」を企画・販売

## 商品内容 ○トラベルサポーター養成講座（2級） | 受講料@25,000円

■修了研修期間：4日間（1日8時間 | 座学2日間、実地2日間）

■研修内容：①バリアフリー旅行環境の現状、②ユニバーサルツーリズム関連法令・障害者施策、③要介護高齢者・障害者理解、④高齢者疑似体験、⑤旅行中の車いす介助、⑥大浴場での介助、⑦業務説明

2017年

資格取得者計:100名  
売上@25,000×100=  
2,500 (千円)

2018年

資格取得者累計:300名  
売上@25,000×200=  
5,000 (千円)

2019年

資格取得者累計:600名  
売上@25,000×300=  
7,500 (千円)

2020年

資格取得者累計:1,000名  
売上@25,000×400=  
10,000 (千円)

提案

## トラベルサポーター養成講座



## トラベルサポーター資格

座学研修だけでなく、様々な旅行環境における車いす介助スキルや、公共交通機関利用方法などを習得する「車いす旅行介助スキルアップ研修」また、高齢者理解を深めるための「高齢者疑似体験キット」を利用したプログラム。大浴場における入浴介助研修など、幅広く旅行介助の技術を身につけることができる資格を目指す。トラベルサポーター2級と3級は、2017年度から実施したい。

- <1> トラベルサポーター3級@5,000  
(座学8時間)
- <2> トラベルサポーター2級@25,000  
(座学2日間、実地2日間)
- <3> トラベルサポーター1級@45,000  
(講師育成、面接、試験、座学2日間、実地2日間)

人材育成と商品開発の相乗効果がポイント

## ④具体的なプロセスとアクションプラン

## 【提案1】

介護人材（従事者）を対象に人材育成やスキルアップを目的とした「スタディ旅行」と 介護事業所を対象にした「視察・研修旅行」の企画・販売

## 2. スタディ旅行商品企画・販売（BtoC・BtoB）

商品内容

## &lt;A&gt;海外・国内の先進事例視察（BtoC）

■例1:オランダ「認知症の村・ホグウェイ」| 2009年に開設された152名が生活している認知症患者向け介護施設。甲子園球場のグラウンド面積とほぼ同じ敷地がひとつの『街』のように機能している。住居だけでなく、カフェやスーパーマーケット、映画館など、入居者がくつろげる環境を整えている。

■例2:ヨーロッパの福祉機器展「REHACARE | ドイツ」、アメリカの福祉機器展「MEDTRADE」視察ツアー

■例3:首都圏「デイサービスLAS VEGAS(カジノ)」、熊本県八代市「シラサギデイサービスセンター(社交ダンス、バー、体育大会等)、東京都杉並区「松漣ふれあいの家(定年退職した男性5人で立ち上げたデイサービス)」などの国内でのユニークな活動を視察

## &lt;B&gt;バリアフリー旅行環境体験ツアー（BtoC）

## &lt;C&gt;EPAに向けた外国人人材視察（BtoB）

■例1:ベトナム・ハノイ&ホーチミンの日本語学校及び送り出し機関視察

2017年

売上合計:36,000 (千円)

&lt;A&gt; 20,000 (千円)

&lt;B&gt; 10,000 (千円)

&lt;C&gt; 6,000 (千円)

2018年

売上合計:42,000 (千円)

&lt;A&gt; 30,000 (千円)

&lt;B&gt; 20,000 (千円)

&lt;C&gt; 12,000 (千円)

2019年

売上合計:85,000 (千円)

&lt;A&gt; 40,000 (千円)

&lt;B&gt; 30,000 (千円)

&lt;C&gt; 15,000 (千円)

2020年

売上合計:120,000 (千円)

&lt;A&gt; 60,000 (千円)

&lt;B&gt; 45,000 (千円)

&lt;C&gt; 15,000 (千円)

提案

## 海外・国内の先進事例視察（B to C）



## オランダのアムステルダム郊外にある「ホグウェイ」(hogewey)

認知症の方のための介護施設。2009年に完成された施設は、約1.5ヘクタールの敷地に住居棟23棟、それぞれ、田園棟や都会棟、クリスチャン棟、高級棟などライフスタイルに沿った7つのテーマで区切られており、広場や庭園、さらにはスーパーや映画館、郵便局などが完備。認知症である入居者は、充実した施設内を自由に行き来し、普通に暮らしているように見えますが、施設内にある飲食店やスーパー、美容院、劇場など運営するのも介護職員で、24時間態勢で入居者を見守っています。



## アメリカのシアトルにあるProvidence Mount St. Vincent

日本で普及が期待されている「幼老統合ケア」に取り組んでいる施設。高齢者は、子どもの面倒を見て成長を見守ることで生きがいを感じ、子どもにとっては情操教育的効果があると言われています。実際に子どもの前だと意識がはっきりするお年寄りも多く、認知症症状が改善されることがあります。

提案

EPA・介護分野における受入準備のための視察



ベトナム・ハノイ&ホーチミンの日本語学校及び送り出し機関視察

日本経済新聞 | 介護、外国人実習生300人超 学研など主要5社受け入れ

2017/1/11 2:00

民間の介護大手が今年から外国人人材の受け入れを本格化する。外国人技能実習制度の改正で介護も対象に加わることに対応する。学研グループやツクイなど主要大手5社が計300人以上を受け入れる方針を決めたほか、他の大手の間でも検討する動きが広がっている。介護各社に聞き取ったところ、主要5社だけで計300人以上を受け入れる方針だ。ニチイ学館やSOMPOホールディングスなど他の大手も受け入れの検討を始めた。

学研グループで介護を手がける学研コソフエン（東京・品川）は2020年までにミャンマーや中国、フィリピンなどから120人程度受け入れる計画。サービス付き高齢者向け住宅や通所介護（デイサービス）事業所での勤務を想定する。同社は17年にミャンマーに介護拠点を設ける計画。日本で実習したミャンマー人に帰国後、同社の拠点で働いてもらうことも視野に入れる。

全国で約300カ所の有料老人ホームを運営するベネッセスタイルケア（東京・新橋）も17年度中に約10人の外国人実習生を受け入れる。外国人実習生に食事や入浴の介助などを担当してもらおう計画だ。

介護事業の大手も前向きだ。デイサービス大手のツクイは17年秋をめぐりベトナムから150人程度を受け入れる。まずは有料老人ホームで働いてもらう。グループホーム大手のメティカル・ケア・サービス（さいたま市）も17年に十数名の外国人実習生を受け入れる予定だ。

人材育成と商品開発の相乗効果がポイント

④ 具体的なプロセスとアクションプラン

【提案2】

トラベルサポーター「人材派遣業務」と「介護旅行」の企画・販売

トラベルサポーター人材派遣業で稼ぐ仕組みづくり

- サービス範囲：介護保険適用外の外出支援（冠婚葬祭同行～海外旅行）
- サービス適用商品：KNT個人旅行（ホリディ、メイト）、受注型企画旅行（個人、団体）
- 販売：（1）CT顧客の高齢の親世代、（2）CTバリアフリー会員、（3）介護事業所、（4）訪日\*（3）まごころ倶楽部との連携等、介護事業所へKB10%支払う（介護事業所にとって新しい収入源）
- \* 認知症患者を対象にすることで「レスパイト旅行」の提案をしたい。
- \* 2020年オリ・パラの要介護者の受け入れを行なう。（訪日外国人を含む）

2017年	2018年	2019年	2020年
<b>人材派遣売上</b> @15,000*100日= 1,500 (千円)	<b>人材派遣売上</b> @15,000*200日= 3,000 (千円)	<b>人材派遣売上</b> @15,000*400日= 6,000 (千円)	<b>人材派遣売上</b> @15,000*600日= 9,000 (千円)
<b>介護旅行売上</b> 海外@200,000*10名 =2,000 (千円) 国内@100,000*10名 =1,000 (千円)	<b>介護旅行売上</b> 海外@200,000*40名 =8,000 (千円) 国内@100,000*40名 =4,000 (千円)	<b>介護旅行売上</b> 海外@200,000*100名 =20,000 (千円) 国内@100,000*100名 =10,000 (千円)	<b>介護旅行売上</b> 海外@200,000*200名 =40,000 (千円) 国内@100,000*200名 =20,000 (千円)

